



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF OMIHACHIMAN
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION
OF
Y'S MEN'S CLUB

2026 年 6 月号

HEAD QUARTERS

SHIGA Y.M.C.A.
537-3 TAKAKAI-CHO
OMI-HACHIMAN SHIGA
523-0891 JAPAN
TEL 0748(33)2420
FAX 0748(34)8230

会 長 岡 田 弥 生 書 記 太 田 美智代
直前会長 岡 田 弥 生 塩 貝 友 也
次期会長 塩 貝 友 也 会 計 平 田 美喜蔵

<http://hama510tori15shira8.wixsite.com/my-saite>

例会日：毎月第3土曜日 出席第一・時間厳守・奉仕 創立 1948 年 5 月 17 日



例会場：アンドリュース記念館
(ヴォーリズ設計第1号)

会 長 主 題	岡 田 弥 生 (近江八幡)	「愛でつながりパート2」
びわこ部長主題	安 澤 勝 (彦根シャトー)	「がんばろう 西日本区！がんばろう ワイズ!!」
西日本区理事主題	中 井 信 一 (奈良)	「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!」
アジア会長主題	田 上 正 (熊本むさし)	「信念と愛を持って行動しよう！」
国際会長主題	エドワード オン (シンガポール)	「信念、愛、行動」

6 月 第 1 例会

日 時 6 月 2 0 日 (土) 19 : 00 ~ 21 : 00

会 場 アンドリュース記念館

18:30 受付開始

19:00 会食

19:30 司会 藪 ワイズ

開会点鐘 岡田 会長

ワイズソング斉唱

点呼 ゲスト紹介 太田 書記

会務報告

20:00 今期を振り返り 岡田 会長
太田 書記
各事業委員長

自由討論会

20:45 ニコニコタイム

20:55 YMCA の歌

21:00 閉会点鐘 岡田 会長

記録 西 ワイズ

食事 瀬間 ワイズ

6 月のハッピーデー

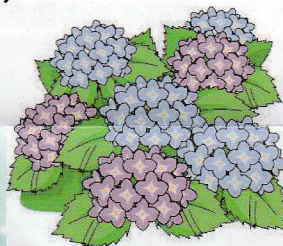
◆誕生日

増田 ひとみ 13 日

堀江 芙美 18 日

◆結婚記念日

浅岡 夫婦 20 日



6 月の予定

- ◆4 日 10 時 ドライバー委員会
- ◆10 日 14 時 広報委員会
- ◆13 日 西日本区大会 ホテル日航奈良
- ◆17 日 19 時 役員会
- ◆28 日 風の谷キャンプ場 ワーク

5 月度出席状況

在籍者数	16 名	功労会員	2 名
出席者数	12 名	ゲスト	3 名
メーキャップ	1 名	メネット	3 名
出席率	85.7%	(算定会員 14 名)	
ニコニコ	8,000 円	計	78,000 円

今月の聖句

タイトル 「平和の虹」②“ レインボー・ネーション ”

「大地は主を知る知識で満たされる。」

イザヤ 11:1 - 10

今から 30 年ほど前、自分たちの国を「虹の国」にしようと訴えた大統領がいた。

南アフリカで初めて全人種が参加した普通選挙によって選ばれたネルソン・マンデラ大統領である。彼はその就任演説で「黒人と白人を問わず、すべての南アフリカ国民が、心に恐れを抱くことなく背筋を伸ばして歩くことができるような、決して人としての尊厳が奪われることのないような社会をつくろう、自分たちだけでなく世界が平和になるような、そんな虹の国をつくろう」とすべての人に呼びかけた。

自らはアパルトヘイト政策によって国家反逆の罪を負わされ、27 年間投獄された経験を持つ。そんな彼が人間の「悪」に無自覚であるわけがないし、夜明けが来るのかと問うたこともないはずがない。しかし彼は黒人と白人に、すべての人に、憎しみではなくゆるしを、絶望ではなく希望を語るのである。

彼の信仰はキリスト教にはない。しかし、この演説を読むたびにイザヤ 11 章の言葉を思い起こす「狼は小羊と共に宿り／豹は子山羊と共に伏す。／子牛は若獅子と共に育ち／小さい子供がそれらを導く。(11:6)」。彼の描いた虹の国は、そんなイザヤの語る平和に根ざしているのではないかと。

祈り 「神さま、あなたは平和を私たちに示してください。主と共に、あなたの平和に倣い、あなたの平和をつくる者とならせてください。アーメン」

小泉 嗣(日本福音ルーテル熊本教会牧師)



< 強 調 月 間 > H

1 年間を振り返り、その経験値を次年度にいかしましょう。

遠藤 通寛(大阪泉北)

会長を務めさせていただいて2年、振り返ってみると本当にあっという間でした。楽しかったこと、笑いあった時間はもちろん、悩んだことや「これで良かったのかな」と考え込んだ日もたくさんありました。でもそのたびに皆様に支えていただき、励ましていただきここまで来ることができました。例会での何気ない会話や「大丈夫ですよ」「一緒にやりましょう」の一言にどれほど救われた事か。改めてワイズメンズクラブは“仲間の集まりなんだな”と感じています。と同時にそこに入り込むことのむつかしさも感じていました。



この2年間会員減少や活動の難しさなどいろいろな課題もありました。それでも私は、仲間を大切に思う気持ちがある限り、クラブは必ず前に進んでいけると信じています。新しい仲間との出会いも、きっとそこから生まれてくるのだと思います。

未熟で行き届かなかった会長だったと思い反省ばかりのこの頃ですが皆様が温かく支えてくださったおかげで最後まで務めることができました。本当にありがとうございました。

5月例会

5月18日（土）開催

増田 克彦

5月16日、18時過ぎには数人のメンバーが、集まってきました。机やバナー等の配置、そして、参加者の名札が並べられ、入口では、会費徴収やお弁当が手際よく配られました。今日のお弁当は檜山メネットで急なご依頼に対応して頂きました。19:00には、司会の西ワイズの合図で、和やかな会話の中、夕食が開始されました。19:30 岡田会長の開会点鐘、ワイズソングでスタートし、太田書記から、会員点呼、および、シンスの2名（麻生氏、門脇氏）のゲストが紹介されました。会務報告では、今後の予定として、映画観賞会、施設訪問、及び、区大会、キャンプ場ワークのアナウンスがありました。次にメインプログラムであるピラティスインストラクタのYURIKOさん（八幡在住）の講習会です。全員机の前に出て椅子に座って並びました。手をこすったり、足をひねったりして、インナーマッスル（内部の筋肉）強化、姿勢改善、胸式呼吸を鍛えるもので、私たちは日頃しない（出来ない）姿勢や刺激を私たちの体に与えました。私たちは顔を見合わせながら初めての経験を体験出来たと思いました。よく似た体操にヨガ（インド）がありますが、ヨガは修行を目的とし、ピラティスは（欧州）捕虜達のリハビリのために始められたそうです。ハッピーバースデー（瀬間・増田）ハッピーアニバーサリー（坂井・西・増田）各岡田会長よりそれぞれに對し選ばれた心温まるプレゼントが手渡されました。



講師:YURIKO 様

近江八幡市大堀町
八幡堀「石畳の小路」にて
ピラティススタジオ
＜レジリエンス＞の
オーナー



ピラティス レジリエンス内



誕生日祝
増田・瀬間各ワイズ

「なら清寿苑」を訪問して 5月28日（木）大正琴 うみかぜの会 主宰 武田 真知子

5月28日（木）朝、私達大正琴・フルート「うみかぜの会」10名は、日本舞踊「芙蓉の会」とワイズメンズの方（総勢19名）で、奈良市内の施設「なら清寿苑」を目指して守山市赤野井を出発しました。10時半頃には、バスは奈良公園近くを走り、学生や外人さんで賑わう公園の中、可愛い小鹿の親子連れを見て微笑ましくて目が離せませんでした。それから、奈良町を散策、お土産も買って、お昼は和食「旬菜 ひより」、次から次と運ばれてくるいろんな大和野菜の料理を十分に味わいました。美味しかったです。

その後、いよいよ「なら清寿苑」へ。施設のスタッフのみなさんの丁寧な対応に導かれ、着替えて3階の演奏会場に入りました。入所されている大勢のみなさん（50～60名）は、お待ちかね、すごく楽しみにされている様子。まず、最初の曲は「夏は来ぬ」。2曲目は、「高原列車は行く」では、お配りしたハンカチを振りながら大きな声で歌って下さいました。続いて「瀬戸の花嫁」「高校3年生」「上を向いて歩こう」「故郷」。今回の6曲は、聞きなれた曲であること、明るい歌であること、みんなに歌ってもらえることに重きを置いて選びました。また、曲によっては打楽器タンバリン入れたのはリズムカルで効果がありました。フルートの音色も、大正琴の硬い音色を和らげてくれました。会場の方の反応は、予想以上に、晴れ晴れと元気な歌声、会場の盛り上がり、バンザイ来て良かった！お一人お一人の笑顔に、こちら生きる力をもらえたような気がします。炭坑節の踊りでは、芙蓉の会 八木お師匠さんの熱い指導のもと、会場全員が一つになって、「掘って、掘って、また掘って～」と踊りました。ほんとに、楽しいひとときでした。なら清寿苑のスタッフのみなさんは、若い方が多くいらっしゃいます。荷物の持ち運びから、ステージの設営、私達への気遣い、心温まるシーンが数多くありました。ここには、福祉のプロが活躍されています。さて、今回の奈良訪問では、ワイズメンズクラブの方々にすべての手配やお手伝いを頂大変お世話になりました。また、長きにわたり、その時々の方員の方にあちらこちらと訪問演奏にお誘いして頂いて楽しい思い出がいっぱいございます。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。今後は、「うみかぜの会 花ごころ」として、小ぶりの活動をとっております。どうぞよろしくお願い致します。クラブからの参加は、増田、池田、安田ワイズ 及び 檜山、増田、浅岡各メネットでした。



■サマープログラム参加者募集！

今年の夏も風の谷キャンプ場を中心に、夏の風物詩 YMCA サマーキャンププログラムを実施します。暑すぎる夏が続きますが、夏休みにしかできないキャンプ体験をしてほしいと思います。幼児年中から高校生まで対象と幅広く設定がある他、皆さんもご参加いただける「ファミリーキャンプ」を準備しています。お孫さんやひ孫さんと一緒に参加していませんか？

昨年度より受付方法が Web 受付 (Y-Link) のみとなっており、よりスムーズな受付・ご参加が可能となります。

キャンプ受付開始

Web 受付 6 月 15 日 (月) 10:00 ~

キッチンボランティア募集

期間: 8 月初旬~中旬

内容: キャンプ中の食事作り (給食)

概ね昼食・夕食作り

(期間中は朝・昼・夜の食事を提供します)

* ボランティアいただける方は、担当谷村まで

■全国 YMCA キャンプディレクター研修会に滋賀 YMCA から参加

2026 年 4 月 29 日~5 月 1 日、東京 YMCA 山中湖センター (山梨県南都留郡山中湖村) にて開催された「全国 YMCA キャンプディレクター研修会」に、滋賀 YMCA ウェルネス事業部・野外活動担当の谷村隼斗さんがキャンプ指導資格の取得を目指して研修に参加しました。研修には、東京 YMCA、埼玉 YMCA、ぐんま YMCA、滋賀 YMCA より約 20 名が参加し、実際のキャンプ活動を体験しながら、YMCA キャンプへの理解を深めるとともに、指導者としての役割や在り方についての学びとともに、全国の YMCA 関係者との交流を深めました。今回の経験を是非今後のアウトドアクラブ、シーズンキャンプに活かしてもらいたいと思います。



■人事

5 月より新しいスタッフが入職しました。アウトドアを中心にウェルネス事業部と一部学童のサポートも行ってもらおう予定です。アウトドアの知識が豊富で、これからアウトドアクラブへ新たな風を吹き込んでくれることを期待したいと思います。ぜひ皆様お時間のある時に YMCA を覗きにお越しください。

ウェルネス事業部野外活動担当

高井 謙 (たかい けんぴりーダー)



今年も 5 月 18 日 (日) 藪ワイズが推薦して下さった映画「阪急電車」を白鳥町自治会館に於いて、11 人のメンバーで見ました。

先月 (5 月) のブリテンに藪ワイズが内容の案内と見どころを紹介して下さっていますが、映画全体のストーリーではなく、6~7 人の女性が阪急電車の中での出来事や電車の中で赤の他人が関わり、涙したり笑ったり、登場人物の年齢もおばあちゃんから小学生・幼児まで全部が主人公で、結婚するはずの男性に裏切られたり、切れやすい恋人と別れたり、ぎこちない大学生の恋が芽生えたり又高校生の進学の悩みやママ友らしき中年のおばちゃんの団体中に一人だけ気が進まずに付き合っている。そのおばちゃん達は電車の中で大声で喋ったり笑ったりそれを引け目に感じながら仕方なく電車の隅に座っている主婦、登場人物それぞれの人生の機微を乗り越えて行くお話しでした。映画の後は藪ワイズが用意下さった昼食のお弁当を頂き一人ずつ映画の感想を聞かせていただきました。本物の阪急電車が出てくるので、共通しているのは阪急電車の思い出でした。阪急電車で何時間もかけて宝塚歌劇を見に行ったこと、仕事で仁川駅に思い出があったり、子どもが阪急沿線に住んでいる等々です。この映画は 15 年前の映画だったので、携帯がガラケーだったり、着ている洋服などを懐かしく見ていました。大きい音の映画だったのですが耳の悪い私は聞こえないところもあり抜けていたりで物足りない文になりました。藪ワイズ! 又いい映画見せてください。

6 月度 びわこ部各クラブ日程表
メンバーキャップ致しましょう !!!

4 日	木	長浜クラブ第 1 例会
8 日	月	彦根クラブ第 1 例会
9 日	火	滋賀蒲生野クラブ第 1 例会
10 日	水	高島クラブ第 1 例会
11 日	木	彦根シャトークラブ第 1 例会
18 日	木	長浜クラブ第 2 例会
20 日	土	近江八幡クラブ第 1 例会
25 日	木	彦根シャトークラブ第 2 例会

あ と が き

5 月初旬、友人に誘われ登山をしてきました。登山とは聞こえが良いのですが、長命寺山と奥島山を縦走しました。休憩を挟みながらの走行距離 3.7 km、標高差 351m で所要時間 2 時間 30 分でした。登山道は湿り気があり落ち葉で滑りやすくなっていました。2 度ほど足を滑らし思ったことは、踏み出す足元に集中せず、歩くことの危険性です。単純な作業ですが、登山は集中力が養われます。頂上は天気にも恵まれ、青い空と青い琵琶湖を満喫しました。人生も既に下り坂、足元を見つめ一歩一歩踏み出したいものです。西 哲男